INFORMATION & OTHERS

栄光の赤ゼッケン復活 !?
ゼッケンの数字と色に注目

広島のみなさんお久しぶりです。九州や遠征してきた熱心なファンはすでに2戦見ているかもですが、今年大会がなかった近畿の方を含め、久しぶりに観戦する方も少なくないと思います。

今年の全日本、まずゼッケンナンバーや色が大きく変わってます。会場に着いてマシンのゼッケンナンバーを見た途端、あれ れ?ってなったのではないでしょうか。そうなんです。今年は赤ゼッケンが増えてます。

栄光の赤ゼッケンなんて言葉を知ってる方はオールドファンですよね。かつては赤ゼッケンこそ国際A級クラス(当時はセニアって呼ばれてました)の証でみんなの憧れだったんです。

でも今年の新ルールで使用される赤地ゼッケンはそれとは違います。初めてレースを見るお客さんに、誰が速いのか分かりやすくするために、去年のランキングトップ10ライダーは赤ゼッケンにしようってことになったんです。ただ、IBクラスは上位のライダーが昇格していなくなってしまうので、IAとLMXクラス限定。去年までは各クラスランキングトップのライダーだけが赤ゼッケンを付けてましたが、今シーズンはIA1、IA2、LMXの2021年度ランキングトップ10、合わせて30台が赤ゼッケンを付けて走ってます。

ゼッケンの数字もチャンピオン山本鯨選手が#400とか、小島庸平選手は#44とかパーソナルナンバーを付けてましたよね。今年はそれも出来なくなりました。

スタートして赤ゼッケンライダーが後ろの方にいたら、何かアクシデントが起きたかって思えるし、そうじゃない、大きな数字やIA昇格を果たしたルーキーが付ける01〜010が前の方を走っていたら、そのライダーは相当頑張ってるって分かりますよね。ひとまず赤ゼッケンは速い。数字の小さいライダーは強いと覚えてください。

次、今シーズンからポイントスケールが変わりました。去年までは1位25ポイントで20位まで獲得できたのが、今年は1位25ポイントは同じでも15位までしか入賞ポイントがもらえません。しかも1位と2位の差3ポイントだったのが1位25ポイント2位20ポイントと一気に5ポイント差に拡大。一見大きな違いはなさそうですが、実はこの変更がランキング争いに大きな影響をもたらしているんでした。

LMX元チャンピオン粉川樹璃に聞いてみた

HSRはココが面白い!

みなさんこんにちは。社会人になってしばらくの間モトクロスはお休み中の粉川樹璃です。とは言え大好きなモトクロス、会社の先輩平田 優選手が前々回九州と前回SUGO大会にスポット参戦するということで、手伝いを兼ねて久しぶりに現地観戦したら、またレースがしたくなってしまいました。

さて2年ぶりの広島グリーンパーク弘楽園。このコースの見所といったら、今はKYBジャンプって呼んでるんでしたっけ!? やっぱりラムソンジャンプですよね。今はテーブルトップに変わって飛ぶのが当たり前になりましたが、私が85で初めて飛んだ頃はまだ間が谷になってて超怖かった。でも一人だけ飛んでるとみんなが注目してくれてるのがわかって、ヘルメットの中でニヤニヤしちゃったことを昨日のことのように覚えてます。ハード路面、アップダウンが多くてスピードが乗るこのコース。いかにパワーをロスしないかが鍵になります。レディースは4ストの川井選手が有利かな。川井選手とIA2の大城選手はアクシデントがない限り決めるでしょうね。それに比べてIA1は、最後までハラハラドキドキを楽しんでください!!

他に昨シーズンから採用されたトリプルヒート制がIA2でも実施されたり、今回がそうですがLMXクラスに2ヒート制が採用されたり。今回トリプルヒートはありませんが、実は日没対策で各クラス決勝時間が5分短縮となっているので、ある意味スプリントのファイナルになります。これらの変更がどんなレースを演出するか、2年ぶりの中国大会、今年最初で最後のレースを心ゆくまで楽しんで下さい。

感染対策しながらの観戦 マナーを守って楽しんで！

感染者が大幅減少傾向にあるとはいえ、新型コロナはまだまだ油断できない状況。今回も咳エチケットはもちろん、ソーシャルディスタンスなど感染対策に留意しながらの観戦をお願いしています。とにかく会場の中からクラスターを発生させない。シーズンを継続出来たこと自体ありがたいわけで、今大会の努力が来年以降に繋がるよう、引き続き皆さまのご理解とご協力をお願いします。

今大会は一般観客のパドック入場制限が大幅に緩和されるとのこと。とはいえ会場内を移動する際は、案内板やスタッフの誘導に十分留意してください。選手紹介でライダーに拍手を送るのはOKですが、表彰式の後などもライダーへの接近はご遠慮ください。引き続きソーシャルディスタンスに留意しつつ、その上で出店ブースでの食事やお買い物など楽しんでいただければと思います。

レース中の途中経過は、予選、決勝を通じ、お持ちのスマートフォンで公式サービスに接続すれば全体の順位やタイムをリアルタイムで見ることができます。アドレスはこの新聞の1番下にQRコードが置いてあります。携帯スマホで写メれば公式アカウントにアクセスできるはずです。

公式プログラムのエントリーリストとライダーのゼッケンとマシンの色を照らし合わせると、初めてレースを見る方でも徐々にどれが誰だか分かるようになってくるハズ。外見でライダーの区別ができるようになると、予選、決勝レースが何倍も楽しくなります。

天候やコンディションで若干変更が出るかもしれませんが、基本土曜日は各クラスの練習走行、予選、IB Open Heat1の決勝。日曜日は練習走行のあと各クラスの決勝と、レースは朝から夕方まで延々と続きます。練習走行のタイムや予選の走りを見て、決勝で誰が上位に来るか予想するのも楽しいですが、ず〜っとレースを見続けていたらさすがに疲れますよね。そんな時はメーカーのサービスブースにも出かけてみてください。コロナ対策でサイン会などのイベントは行われないと聞いていますが、スタート看板後方の各社出店や展示ブースは必見です。またコースから道を隔てた場所に展開する第1パドックにもぜひ足を運んで見てください。カタログはもちろんポスターや特製のノベルティグッズが貰えちゃったりもします。スタッフさんに性能や価格などを問い合わせるのもあり。忙しい時間でなければ必ず対応してもらえます。

スタートゲートやサインエリアではメカニックさんの仕事ぶりも見学出来ます。コースを移動しながら最適な観戦ポイントを探してください。転倒などアクシデントが多い競技なので、ライダーは安全への配慮も怠りません。モトクロスウェアーの中に着けている装具なども出店ブースでぜひご覧になってください。

シーズン終了してからが本番 ? プレミアレポート配信します。

全日本モトクロスの画像やインサイドレポートを手元の携帯にお届けしている速報メールサービス「HYPER MXING 」ですが、オフシーズンもレポートを配信し続けます。料金は基本タダ(笑)。現地情報からレース後の裏話などなど、モトクロス好きの期待を裏切らないサービスをお届け中。みなさんぜひご登録ください。

編集後記

昨年同様11月末の開催となったシリーズ最終戦。西日本は日没が遅いから大丈夫かな？と思っていたら、レース時間を短縮して進行を早めるとの発表がありました。実は約1ヶ月前に行われたSUGO大会でも視界に入り込む西日がライダーを苦しめたらしく、安全対策にも配慮した上での決定とのこと。

丸2年に渡りコロナ禍での運営を強いられた全日本ですが、ライダーはもちろんチーム関係者も運営スタッフも、誰より会場に足を運んでくれた観客の皆様に、改めて感謝を申し上げる次第です。来年が元気で素晴らしいシーズンなりますように。みんなで頑張って盛り上げましょうね。

MXING & MC Square 木田 淑

Arai HELMET
安全性能の追求!
株式会社アライヘルメット
〒330-0841埼玉県さいたま市大宮区東町2-12
TEL(048)641-3825
http://www.arai.co.jp/

RIDING SPOT PERFORMANCE PRODUCTS.
モータースポーツからツーリングまで
バイクライフをサポートする
(有)ライディングスポット
横浜市戸塚区上倉田1767
Tel.045-862-4878

全日本モトクロス選手権シリーズをご観戦いただいた皆様の感想をお聞かせください。会場に着いて気になったこと。アレは良かった、ここはダメ。情報配信アプリ「グルービュー」を使ってみた感想などなど、気付いたこと気になったこと、どんな小さなことでもかまいません。左のQRコードをスキャンすると投稿フォームが表示されます。いただいた感想とご意見は、大会の主催者並びに競技運営チームの担当者に責任をもってお渡しします。全日本モトクロスをより良い大会にするためにぜひとも奇譚のないご意見をお聞かせください。どうぞよろしくお願いします。

全日本モトクロス新聞

MXING MOTOCROSSING

制作・発行／MC Square 木田 淑
〒970-1152 福島県いわき市好間町中好間田中62
Tel. & Fax. 050-1536-5147
E-mail: kida@mxing.com
HP:http://www.mxing.com
出力・印刷／東京カラー印刷株式会社
〒120-0024 東京都足立区千住関屋町5-27
Tel. 03-5284-1173 Fax.03-5284-1174
HP:http://www.tcpc.co.jp
全日本モトクロス選手権大会毎発行・無料

PREVIEW-GREEN PARK KORAKUEN

優勝回数では他を圧倒するも、ライバル富田俊樹(#2)に1ポイント差まで迫られたIA1ディフェンディングチャンピオン山本 鯨(#1)。勝負の行方は果たして!? *Photo/K.Kida*

延期開催によりシーズン最終戦となった全日本モトクロス選手権2021シリーズ第2戦 中国大会は、11月27〜28日に広島県世羅郡世羅町の世羅グリーンパーク弘楽園で開催される。各クラス最後までもつれ込んだタイトル争い。大混戦のIA1クラスは、王者山本とランキング2番手の富田が僅か1ポイント差で最後の勝負に挑む。シーズンの栄冠を掴み取るのは果たして誰か!? コロナ禍を乗り越えてきた戦いのドラマは、ついにフィナーレの時を迎える。

マナーを守って楽しく観戦しよう!

1.入場時には検温と体調チェックに協力を
2.マスク着用と咳エチケットを守ろう!
3.声援は我慢、フラッグや拍手で応援しよう!
4.ソーシャルディスタンスを確保しよう!

僅か1ポイント差のタイトル争い 栄冠は山本or富田どちらの手に

新型コロナ感染拡大の影響を受けながらも、全6戦で争われることとなった今シーズン。国内最高峰IA1クラスは、ディフェンディングチャンピオンの**山本 鯨**(#1／ホンダ)が、ここまで2度のパーフェクト優勝を含むクラス最多の5勝をマークするものの、ポイントランキングでは後半追い上げてきた**富田俊樹**(#2／ヤマハ)が僅か1ポイント差で山本に肉薄。過去に例のない大接戦は、ここ世羅グリーンパーク弘楽園で両者決着の時を迎える。

前回SUGO大会、ポイントリーダーとして地元大会に臨んだ**渡辺祐介**(#3／ヤマハ)は、両ヒートともスタート直後の転倒に巻き込まれランキングも3番手に後退。しかし上位に波乱が起きれば、僅かながらも逆転の可能性を残している。

山本と富田にとっては先着することがチャンピオン決定の絶対条件。両者の優勝争いがそのままタイトルバトルとなるのか、あるいは渡辺やランキング4番手につける**能塚智寛**(#5／カワサキ)、ランキング5番手**小方 誠**(#4／ホンダ)が最後に一矢報いるのか。

開幕から激しい攻防を繰り広げて来た5人のファイナルバトルと栄冠の行方に熱い視線が集まる。

その後方では、ベテラン**小島庸平**(#6／ホンダ)を追って**星野優位**(#8／ヤマハ)、**大塚豪太**(#7／ホンダ)、**横澤拓夢**(#10／ホンダ)らがトップ10バトルを繰り広げる。泣いても笑っても残すは2ヒートのみ。国内最強ライダーたちによる熱く激しいバトルに期待したい。

独走から一転窮地に陥った内田 大城は大逆転での戴冠なるか !?

若手中心のIA2クラスは、開幕戦第1ヒートこそ2位に甘んじたものの、**内田篤基**(#4／カワサキ)がそこから5連勝をマークしてライバルを圧倒。ところが初のトリプルヒート制で行われた第6戦九州大会で、内田は第1ヒートの1周目に大クラッシュを喫してランキングトップの座からも転落。

快進撃から一転窮地に陥った内田に代わって、初タイトルのチャンスを大きく引き寄せたのが**大城魁之輔**(#2／ホンダ)だ。ダメージにより内田が欠場した前回SUGOでランキング首位に立った大城は、内田の動向次第となるが、今大会第1ヒートで2位以内なら自力でのタイトル決定となる。大城の優位は揺るがないだけに、どんな内容でタイトルを決めるか注目したい。

後方で繰り広げられる**鳥谷部晃太**(#35／ヤマハ)と**大倉由揮**(#6／ヤマハ)のランキング3位争い、**池田 凌**(#9／カワサキ)と**中島漱也**(#10／ヤマハ)のランキング5位争いにも注目。いずれもジャンプアップの可能性を残しており、来シーズンの飛躍へ弾みを付けて欲しいところだ。

圧倒的な強さを見せる川井 連覇へ有終の美を飾れるか?

昨シーズン4戦全勝の圧倒的な強さで新女王の座についた**川井麻央**(#1／ホンダ)。その勢いは今年も変わらず、開幕戦九州大会から勝ち続けた川井は、初の2ヒート制で行われた関東大会、6月のSUGOと連勝し、昨年からの連勝記録を8に伸ばした。

歴代最多連勝記録を視界に捉えた川井だったが、第6戦九州大会ではトップ立った直後にコースアウトを喫し、ほぼ最後尾からの猛烈な追い上げも4位止まり。しかし続くSUGOでまたもライバルを圧倒して見せた川井は、今季2度目となる2ヒート制の第1ヒートでランキング2位の**本田七海**(#2／ヤマハ)を抑えればその時点で連覇が決まる計算。

ラスト2レース、川井がどんな走りで連覇を決めるのか、優勝回数をどこまで伸ばすか楽しみは尽きない。本田や**小野彩葉**(#4／ホンダ)、**久保まな**(#3／ホンダ)や**楠本菜月**(#5／ハスクバーナ)らライバルたちがどこまで川井に食い下がることが出来るか、全力での戦いを見守りたい。

IB Openクラスやジュニア、チャイルドクラスにも注目。誰か一人のライダーに注目すると、展開がわかってレースが何倍も面白くなる。公式プログラムでライダーの素顔や出身地をチェックし、地元の選手には特に、コースサイドから熱い応援を送って欲しい。

D.I.D 全日本モトクロス選手権シリーズ 2021スケジュール

第1戦	HSR九州大会	4月10〜11日	熊本県／HSR九州
第3戦	関東大会	5月15〜16日	埼玉県／オフロードヴィレッジ
第4戦	SUGO大会	6月5〜6日	宮城県／スポーツランドSUGO
第5戦	近畿大会	~~9月11〜12日~~(中止)	奈良県／名阪スポーツランド
第6戦	九州大会	10月9〜10日	熊本県／HSR九州
第7戦	MFJ-GP	10月23〜24日	宮城県／スポーツランドSUGO
第2戦	中国大会	11月27〜28日(延期)	広島県／世羅グリーンパーク弘楽園

D.I.D 全日本モトクロス選手権 最終戦 中国大会 開催おめでとうございます。
HONDA YAMAHA Revs Your Heart SUZUKI

左のQRコードは、ライブリザルトとライブ動画へのダイレクトリンクです。スマホでアクセスすれば、コントロールラインの通過順位はもちろん、コース反対側のトップ争いも見ることができます。また、右のQRコードにアクセスすると、タイムスケジュール、エントリーリスト、リアルタイムリザルトの他、メーカー、チームの公式レポートやライダーのFacebook、Twitter、Instagramなど全日本モトクロス選手権シリーズに関する様々な情報にアクセスできるようになります。ぜひブックマークしてご活用ください。